

報告事項 才

令和4年度とっとり学力・学習状況調査について

令和4年度とっとり学力・学習状況調査について、別紙のとおり報告します。

令和4年6月22日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和4年度とっとり学力・学習状況調査について

小中学校課

1 目的

児童生徒一人一人の学力の伸びや学習状況を測る県独自の学力・学習状況調査を実施することにより、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における学習指導の充実や授業改善の推進等に役立てる。また、そのような取組を通じて、学力向上に係る継続的なR（リサーチ）－PDC Aサイクルの確立と徹底を図り、本県全ての児童生徒の学力向上に資する。

2 調査の特長

- ・学力を経年で比較することにより、一人一人の児童生徒の伸びを明確に測ることができ、学力の状況や実態に応じた学習指導が可能となる。また、質問紙調査により、非認知能力と学力の相関関係も比較できる。
 - ・「学習した内容がしっかりと身につけているのか」という従来の学力調査の視点に、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点を加えることで、一人一人の児童生徒が成長していく姿が見える調査である。
- ※学力の伸びを測ることができるのは2年目以降

3 実施学年・調査内容

小学校4年生から中学2年生までの国語、算数・数学、学習状況に関する質問紙調査

4 実施日

令和4年5月9日（月）から18日（水）の期間で、実施を希望する市町村（学校組合）教育委員会・学校が任意に実施日を選択して実施した。

5 実施市町村（13市町村）

- ・鳥取市、米子市（3年目）
- ・岩美町、八頭町、智頭町、倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町、琴浦町、境港市、日吉津村（2年目）
- ・大山町（1年目）

6 調査参加人数

	参加校数	参加人数
小学校 義務教育学校	106校 (小学校102校、義務教育学校4校)	約13,000人
中学校 義務教育学校	46校 (中学校42校、義務教育学校4校)	約8,390人
特別支援学校	3校	約10人
合計	155校	約21,400人

*調査参加率は、小・中学校とも全児童生徒数の約90%

7 今後のスケジュール（予定）

期 日	内 容
5月9日（月）～ 18日（水）	調査実施 ※調査終了報告書の提出（別途通知）5/23（月）〆切
5月19日（木）	調査資材の返送 ※各学校から業者へ直接返送
8月末	調査結果の返却 ※業者から各学校へ直接送付
9月初旬	調査結果概要の公表
9月初旬	学校マネジメント研修（管理職を対象とした研修会）
9月中旬	第1回教員対象の分析方法説明会（東・中・西部）
9月下旬	分析委員会
12月以降	調査報告書の公表
2～3月	第2回教員対象の分析方法説明会（東・中・西部） 令和5年度調査説明会

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、変更する可能性がある

8 調査の活用方法

- ・調査によって明らかとなった、児童生徒の学力を伸ばしている好事例（授業、学校全体の取組等）を報告書等で発信する。
- ・調査結果活用協力校の取組や学力を伸ばしている学校・教師等の実践を参観したり、聞き取ったりして、そのノウハウを収集し、報告書を作成する。
- ・倉吉市教育委員会と連携し、本調査から得られるデータの活用を県教育委員会と共同で実証研究を行う。その際、文部科学省地方教育アドバイザーに支援を受け、結果を基に指導法や校内研究、教育施策の効果検証を行い、次年度以降の教育施策に生かす。また、実証研究から得られた知見を報告書にまとめ、全県に周知する。そのことで、鳥取県で「とっとり学力・学習状況調査」をエビデンスとした教育施策の立案を推進する。
- ・調査結果のデータをもとに、児童生徒の5年間（小学4年生から中学2年生まで）の学力の伸びや学力を支える力の経年変化を可視化した個票（仮称：個人カルテ）を作成し活用することで、一人一人に寄り添った個別最適な学習を進めるための見取りと小中一体となった教育実践が行うことができるようにする。

9 実施状況と今後の計画

- ・令和2年度：鳥取市、米子市の小学4年生から6年生までで先行実施
- ・令和3年度：対象学年を小学4年生から中学1年生までとし、県内12市町村で実施
- ・令和4年度：対象学年を小学4年生から中学2年生までとし、県内13市町村で実施
- ・令和5年度以降：対象学年を小学4年生から中学2年生までとし、県内全市町村で実施を検討

10 調査結果の公表について

県教育委員会は県民に対する説明責任を果たす観点から、以下の項目について調査結果を公表する。その際、調査により把握できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどについて十分留意するものとする。

【公表する項目（予定）】

- ・調査の概要：調査の目的、実施期日、参加学校、参加人数、調査項目
- ・調査結果：県平均正答率、カテゴリー別正答率、学力レベルの分布（学年ごと）
市町村別の平均正答率、カテゴリー別正答率
- ・質問紙調査とのクロス集計結果